

### 1. 設計と植栽の維持管理

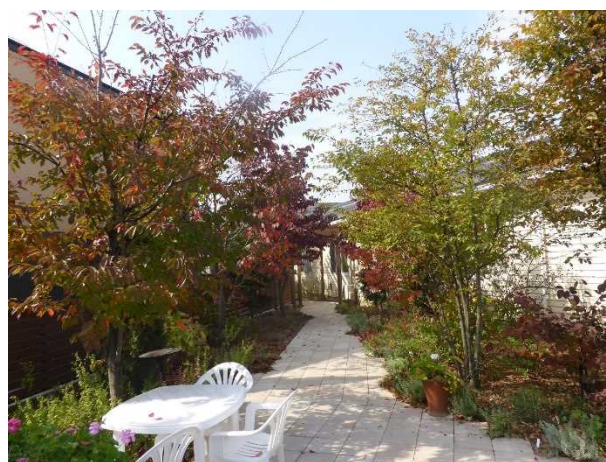
植栽地を管理するには、緑地の内容や将来の目標、要求品質によって、維持管理の仕方が異なるので、計画の中での植栽の目的や機能を理解し、目的や機能に沿った維持管理を行う必要がある。例えば、日本庭園のように非常に維持管理作業を必要とするものから、工場の緩衝緑地のように維持管理をかけないようにしたい緑地のように計画の目的と内容によって維持管理の仕方や回数が異なる。

設計者はランドスケープの工事完了後、引き渡し時点で施主及び維持管理担当者に計画・設計のコンセプト、植栽の計画・設計、エリアごとの植栽の管理グレード説明をし、植栽の維持管理に反映してもらおう。

- ① 植栽のコンセプトの説明をする。
- ② エリアごとの植栽の計画・設計を説明する。(例: アプローチ、エントランス、中庭、外周緑地等)
- ③ エリアごとの植栽の管理グレードを説明する。(例: 剪定や刈込の回数、ガーデンでの草花の補植等)
- ④ 維持管理での留意点を説明する。(例: 基礎の関係で人工地盤となっている植込みの水やり等)



・3年ごとの透かし剪定と、必要に応じて切り戻し剪定を実施している分譲マンションのサクラ



・年1回の透かし剪定と春と秋の草花の補植、補植の際に堆肥と肥料を施している高齢者福祉施設の庭

### 2. 植栽の管理で一般的にいえること

- ① 植栽地の土壤環境が良いと、樹木が健全に生育することができ管理が容易となる。
- ② 郷土樹種などその土地の環境に適している樹木は、丈夫で管理が容易である。
- ③ 植栽環境と樹木本来の生育や樹形を考慮し、適切な配植、密度、間隔で植えられたものは管理が容易。
- ④ 多種多様な植栽とすると、天敵などが殖えて病虫害防除が容易となる。
- ⑤ ビオトープも刈込みや除草などの管理が必要で、ノーメンテナンスではない。
- ⑥ 仕立てもの樹木は維持管理の手間がかかり、自然形のものには維持管理の手間が少ない。
- ⑦ 芝生の建設費は安いですが、維持管理の手間は多くかかる。
- ⑧ 洋シバは日本シバに比べて、芝刈り、施肥、灌水、病虫害防除などの作業は倍以上行う必要がある。
- ⑨ 雑草も緑化植物と見なした芝生の原っぱは比較的管理は容易である。

### 3. 植栽地の維持管理作業の項目(例)

樹木の維持管理作業	定期的作業	剪定や刈込み、施肥、除草、病虫害防除、灌水等
	不定期作業	支柱の結束直し、枯損樹の除去、補植、土壌改良、災害時の際の復旧作業等
芝生の維持管理作業	定期的作業	芝刈り、施肥、除草、灌水、病虫害防除、目土かけ、エアレーション等
	不定期作業	シバの張替え、土壌改良等

4. 植栽樹木の維持管理年間スケジュール表(例)

作業項目	年間作業回数	作業月												備考	
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		
刈込	生垣の刈込	1~2回/年				●			○						刈込は年1回は必要。
	キンモクセイ刈込	1回/年													
	灌木類の刈込	1回/年									●				
低木類剪定	アベリア刈込	1~2回/年				●		○							花柄摘みは必ず花後に速やかに行う。透かし剪定も行うのが望ましい。
	常緑低木類の剪定	1回/年				●									
	シャクナゲ花柄摘み	1回/年				●									
	カルミア花柄摘み					●									
	アセビ花柄摘み					●									
	落葉低木類の剪定	1回/年									●	●	●		
高中木類剪定	アジサイ類花柄摘み	1回/年					●								透かし剪定と切り戻し剪定を行う。メインの場所は年1回剪定するのが望ましい。
	ライラック花柄摘み	1回/年または2~3年に1回				●									
	常緑高中木の剪定					●									
	キンモクセイ剪定			●								●			
	常緑ヤマボウシ剪定		●									●	●	●	
	落葉高中木の剪定		●												
果樹剪定	ロウバイの剪定	1回/年	●												果樹に合わせて細かい剪定を行う。
	ハナモモの剪定				●										
	針葉高中木の剪定		●												
	柑橘類の剪定		●												
施肥	ビワの剪定	1回/年							●						一般的に他の樹木には不要。
	ウメの剪定										●				
	カキの剪定		●												
除草	果樹への施肥	2回/年				●								●	
	花木への施肥	2~3年に1回												●	
灌水	病害虫防除	適宜(2~3回/年)	○			○			○						
	除草				●			●							
支柱	人工地盤上の植込み	適宜(週の回数)		1~2回			3~4回			2~3回			1回前後		手動灌水と手撒き不要のは撤去
	一般大地	適宜			○		○						○		
見回り	支柱結束直し・撤去	適宜													
	見回り・点検	月1回前後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

5. 芝生の維持管理年間スケジュール表(例)

作業項目	年間作業回数	作業月												備考
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
芝刈り	5回/年			●	●	●	●	●						
除草	3回/年			●		●		●						
除草剤散布	適宜(2回/年)	○			○									
施肥	適宜(2~3回/年)	●					●		●					
病害虫防除	適宜(2回/年)				○			○						
灌水	適宜													
目土かけ	1回/年	●												
エアレーション	1回/年	●												

6. 作業分担案と芝生の原っぱ案

維持管理コストや景観、健康などを考慮すると、低木類の剪定や施肥、除草、灌水などは専門家の指導のもと自分たちの手で行うのが望ましい。

また、芝生は雑草として扱っている野草も生えていてもよいとする芝生の原っぱとすることにより、除草作業の軽減につながるとともに自然との多様性にも配慮することができる。